

日本ロレアル、2013年も宮城県石巻市においてコミュニティ再生支援を継続 ～「HANA 荘」開設1年で、総利用者は約1万人に～ 2013年は女性の社会参画推進プログラムを展開

日本ロレアル株式会社
2012年11月27日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループの日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:クラウス・ファスベンダー)は、復興支援活動の一環として、継続的にコミュニティ再生支援を2013年も継続して実施しています。

震災直後には、社員のボランティア活動として瓦礫撤去、養殖作業、製品の配布などを行い、その経験から、継続的かつ長期的に地域を支援していくことが必要と確信し、昨年11月に地域の人たちが集う場所、**コミュニティカフェ「HANA 荘」**(敷地:330㎡、建物:80㎡ 住所:鹿妻南1-9)を建設いたしました。運営・管理についてはNPOと連携しつつ、定期的に社員が石巻に出向き、HANA 荘や仮設住宅など、市内の様々な施設にて、コミュニティ再生支援のボランティア活動を続けてまいりました。また、新たに2013年からは、震災を機に立ちあがった地元石巻のNPOと共に地域の女性の社会参画推進プログラムを開始いたします。このプログラムの修了者は、「宮城県石巻市女性人材リスト」に登録することが可能で、街づくりなど行政に積極的に関わっていきます。

【NPOとの協働による、コミュニティカフェ「HANA 荘」の運営の特徴】

日本ロレアルは、特定非営利活動法人JEN(以下ジェン)と緊密に連携し、2011年11月29日に開設して以来、約1万人の方にご利用いただきました。

①地域の皆さんが気軽に立ち寄り、情報の拠点に

- ✓ 年中無休で毎日10時から16時までオープン
- ✓ 被災された地域の方を雇用し、立ち寄りやすい雰囲気
- ✓ 机と椅子のスペースと畳のスペースを配置
- ✓ ネスレ日本から寄付していただいたコーヒー、チョコレートを提供

②行政や地域の皆さんの会合場所として利用

- ✓ 被災した集会所の代わりに、行政との会議や自治会の会議などで利用
- ✓ 地域の老人会や手芸サークル、ヨガ講座、ボランティア活動の拠点に

③日本ロレアルのプログラムの実施

今まで、日本ロレアル社員約500名がボランティアとしてコミュニティ支援活動に参加し、メイクやハンドマッサージを通じて地域の皆さんと交流をしています。

- ✓ 2011年11月 HANA 荘オープン日に、仮面ライダー握手会を実施
- ✓ 2012年3月 HANA 荘にて石巻焼きそばの炊き出しを実施
- ✓ 2012年5月 HANA 荘にて母の日カード作りイベント開催
- ✓ 2012年5月 石巻専修大学にて女子大生向けメイク講座を開催
- ✓ 2012年6月 HANA 荘にてスキンケア講座を開催
- ✓ 2012年6月 石巻市鹿妻保育所にて紫外線対策の紙芝居を実施
- ✓ 2012年8月 石巻市鹿妻地区および開成仮設住宅の夏祭りの運営サポート
- ✓ 2012年10月 HANA 荘でハロウィンパーティー開催。鹿妻保育所、鹿妻小学校の園児、児童が参加
- ✓ 2012年11月 HANA 荘にて女性医師とのコラボレーションによる女性の健康相談会を実施
- ✓ 2012年11月 HANA 荘にて近隣の皆さんと2013年カレンダー作成のための撮影会を実施
- ✓ 2012年12月 HANA 荘にてクリスマス会を実施(予定)

④ HANA 荘を中高生の学習支援の場所としても活用

- ✓ 「希望のゼミ」を週 2 回開講
 - 2012 年 3 月より被災した中高生を対象とした学びと学習相談の場「希望のゼミ」(<http://kibounozemi.jp>)を開講
 - 毎週土曜・日曜の週二回、16 時 30 分より 20 時 30 分まで、地域に根ざした学習支援を無償で展開。
 - NPO フローレンスとの連携により、学習のサポートや、受験・進路相談に対応する学習指導員を毎週 2 名派遣。生徒の進路・進学のカounselingも定期的にも実施
 - 2012 年 3 月の開校以降、2012 年 11 月 17 日時点で約 850 名の中高生が参加
- ✓ 「きらめき教室」が 2012 年 9 月より開講
 - 石巻の中高生たちに人生を切り拓き、自分自身の輝きをみつけられるようにということを目的に開講
 - 月一回、美容師、研究者、パティシエなど、さまざまな分野で活躍している社会人を招き、中高生と共に仕事について語り合い、ワークショップも実施
 - 今までにロンドンオリンピック銅メダリスト、美容師、医師などが参加し、今後は中高生に高い人気のパティシエ、アニメーター、モデルの方などにいらしていただく予定

【HANA 荘が社団法人日本空間デザイン協会の「空間デザイン賞 2012」に選出】

「空間デザイン賞」は、一般社団法人日本空間デザイン協会が主催する、世界最大規模の空間環境系のデザイン賞です。2012 年は、東日本大震災を受けて新設された賞「復興支援特別賞」に HANA 荘の実績が認められ、選出されました。

【地域コミュニティによる自主的運営に向けての話し合いをサポート】

HANA 荘は、日本ロレアルのサポートのもと、ジェンが運営を実施してきました。HANA 荘開設1年を経て、今後は、地域コミュニティの皆さんによる自主的運営へ移行をするための話し合いを、サポートして参ります。



日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/corp/>)

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,200人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、ランコム、ロレアル パリ、メイベリン ニューヨークなど18のブランドを展開しています。

JEN について(www.jen-npo.org/)

1994 年 1 月に旧ユーゴスラビア地域における緊急支援のために設立。以来、「生きる力、を支えていく。」をモットーに、一貫して、現地の人びとの力を活かした「自立支援」を実施。世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人びとへ、緊急から復興の各段階できめ細やかな支援活動を行っている。2000 年には、NPO 法人格を取得。2005 年には「認定特定非営利活動法人(認定 NPO)」として認定される。東日本大震災においては、発災直後より、宮城県石巻市とその周辺で幅広く支援活動を行っている。2012 年 11 月現在、アフガニスタン、イラク、スリランカ、パキスタン、南スーダン、ハイチ、石巻、そしてヨルダンにてシリア難民支援を継続中。

フローレンスについて(www.florence.or.jp/)

NPO 法人フローレンス(2004年設立、代表理事:駒崎弘樹)は「子育てと仕事の両立が当たり前の社会」を目指し、子どもが病気の時に保育園に預かってもらえず、働く親の両立の大きな壁となっている「病児保育問題」などの解決に取り組む団体。非施設型・共済型の病児保育という日本初の仕組みを構築し、2005年より預かり開始。また、2008年には、収入の少ないひとり親家庭の両立を支援すべく、全国から集める寄付を原資にひとり親向け病児保育サポートを開始。ひとり親家庭の平均収入は一般家庭の約1/3、子どもにかかる教育費は約半分と言われ、親の経済状況が子どもの教育機会に影響することから、病児保育を通じたひとり親家庭の経済的自立を支援しています。3.11震災後には、被災地の中高生向け無償学習支援「希望のゼミ」のほか、福島の子どもたちが放射能を気にせず遊べる室内公園「ふくしまインドアパーク」(郡山市、南相馬市)の設立・運営、福島から東京都内への避難家庭の子どもを一時的に預かる保育サポートを行ない、被災地の子ども・家族の支援に注力。「希望のゼミ 学習室」は、イオンモール石巻にある新教育ゼミナール内、および HANA 荘で展開しています。